

根尖よりガッタパーチャが漏出した 上顎左側第二大臼歯への再根管治療

Retreatment to the maxillary left second molar
which the gutta-percha had leaked from the apex

長尾歯科
長尾 大輔
Nagao Dental Clinic
Daisuke Nagao

日々の診療で、再根管治療を行わない日はないばかりか、解剖学的要因や過去の根管治療における合併症等によって、やむを得ず外科的歯内療法や抜歯に至ってしまうケースに遭遇することもある。外科的歯内療法を施す場合、前歯・小臼歯・一部の大臼歯においては歯根端切除術を、第二大臼歯等は意図的再植術、のように、通常は部位によって選択する術式が異なる。しかし、いずれの術式も、患者に大きな外科的侵襲を加え、術中・術後に様々なリスクを伴う可能性もあるため、有病者や高齢者等には施しづらいこともある。筆者は昨年(2016年)の日本顕微鏡歯科学会第13回学術大会において、様々な問題を抱えた上顎左側第二大臼歯に対し、自身が考案した新たな術式”インターナルアピコエクトミー”を実施し、低侵襲でありながら無事に保存・機能させることができた症例を報告した。当院では既に45を超える症例で本術式を施している。そこで今回は、昨年の症例とともに、これまでの多くの症例で見えてきた事実に対し、本術式についての見解や考察を述べたい。

1994年 神奈川歯科大学 卒業
1998年 神奈川歯科大学歯科保存学講座大学院 卒業
2007年 茨城県ひたちなか市 長尾歯科 院長就任

日本顕微鏡歯科学会 役員
日本顕微鏡歯科学会 指導医
日本顕微鏡歯科学会 認定医
米国歯内療法学会 会員
日本臨床歯周病学会 会員
関東歯内療法学会 理事
神奈川歯科大学 特任講師